

法政大学学術機関リポジトリ

HOSEI UNIVERSITY REPOSITORY

PDF issue: 2024-12-26

会員研究発表リスト : 2000年4月-2001年3月

(出版者 / Publisher)

法政大学経営学会

(雑誌名 / Journal or Publication Title)

The Hosei journal of business / 経営志林

(巻 / Volume)

38

(号 / Number)

2

(発行年 / Year)

2001-07-30

会員研究発表リスト—2000年4月～2001年3月—

中 桐 宏 文 教授

- (著書) 『経済学——基礎から実践へ——』有斐閣, 2000年4月
- (書評) 「『戦後日本の租税構造』林榮夫著」有斐閣, 『書齋の窓』第500号, 2000年12月

遠 田 雄 志 教授

- (講演) 「リストラから見えてくるもの」足立区立中学校長会研修会, 2000年6月29日
- (報告) 「組織認識論への誘い」解釈学的経営情報学研究部会第5回ワークショップ, 2000年7月1日
- (論文) (高橋量一と共著) 「阪神大震災——その組織認識論的考察——」法政大学産業情報センター『ワーキング・ペーパー・シリーズ』No.93, 2000年10月2日
- (エッセー) 『21世紀の経営におけるミドルの役割とは』産能大出版「ディベロプメント」2001年2月号, 2001年1月2日
- (報告) 「ポストモダン経営学における組織の適応モデル」法政大学経営学研究会, 2000年12月12日
- (論文) 「組織の適応モデル」法政大学経営学会『経営志林』第37巻第4号, 2001年1月
- (訳書) (西本直人と共訳) 『センスメーカーインオーガニゼーションズ』文眞堂, 2001年3月
- (論文) (高橋量一と共著) 「ウラン加工工場臨界事故調査委員会報告書——その組織認識論的考察——」法政大学産業情報センター『グノーシス』, 2001年3月

今 井 一 孝 教授

- (著書) 『経営学』法政大学通信教育部, 2000年11月
- (論文) (分担執筆) 「経営学説史…法政大学の事例」ミネルヴァ書房, 法政大学経営学部・藤村博之・洞口治夫編著『現代経営学入門』第3章, 2001年1月

宇田川 勝 教授

- (論文) 「本田技研工業 藤沢武夫」浜銀総合研究所『ベストパートナー』第12巻第4号, 2000年4月
- (事典項目) 「伊藤忠商事会社ほか2項目」小学館『日本歴史大事典』第1巻, 2000年7月
- (共編著) 「日本の企業間競争」有斐閣, 2000年10月
- (事典項目) 「新興財閥ほか1項目」小学館『日本歴史大事典』第2巻, 2000年10月
- (研究ノート) 「大企業形成時代の企業家活動——武藤山治と藤原銀次郎——」法政大学産業情報センター『ワーキング・ペーパー・シリーズ』No.91, 2000年11月
- (論文) 「企業家の群像——経営史——」ミネルヴァ書房, 法政大学経営学部・藤村博之・洞口治夫編『現代経営学入門』, 2001年1月
- (共著) 『일본경영사 (日本経営史)』Hanul Publishing, 2001年2月
- (事典項目) 「中島久万吉ほか8項目」小学館『日本歴史大事典』, 2001年3月

鈴 木 武 教授

- (随想) 「スナック街は左手方向にある」東京大学経友会, 『経友』No.149, 2001年2月

小 川 孔 輔 教授

- (連載1) 「欧州の花き流通(1):市場(英国)」『日本農業新聞』, 2000年7月18日
- (連載1) 「欧州の花き流通(2):品質保証(英国)」『日本農業新聞』, 2000年7月19日

- (連載1) 「欧州の花き流通(3):花束加工業者(英国)」『日本農業新聞』, 2000年7月20日
- (連載1) 「欧州の花き流通(4):経営環境(英国)」『日本農業新聞』, 2000年7月21日
- (連載1) 「欧州の花き流通(5):電子商取引」『日本農業新聞』, 2000年7月22日
- (連載1) 「欧州の花き流通(6):商品調達」『日本農業新聞』, 2000年7月25日
- (連載2) 「花き容器標準化・欧州の取り組みを見る(1):激的な闘い」『日本農業新聞』, 2001年3月27日
- (連載2) 「花き容器標準化・欧州の取り組みを見る(2):バケット導入」『日本農業新聞』, 2001年3月28日
- (連載2) 「花き容器標準化・欧州の取り組みを見る(3):リサイクル」『日本農業新聞』, 2001年3月29日
- (連載2) 「花き容器標準化・欧州の取り組みを見る(4):台車の統一」『日本農業新聞』, 2001年3月30日
- (連載2) 「花き容器標準化・欧州の取り組みを見る(5):効率的な物流」『日本農業新聞』, 2001年3月31日
- (連載3) 「JFMA 通信(1):消費者を幸せにするために, わたしたちがいまなすべき」『農耕と園芸』, 2000年10月
- (連載3) 「JFMA 通信(2):日本の花産業が, 長期的な国際戦略を構築すべきとき」『農耕と園芸』, 2000年11月
- (連載3) 「JFMA 通信(3):輸送園芸の終わり」『農耕と園芸』, 2000年12月
- (連載3) 「JFMA 通信(4):切り花の内食・中食・外食」『農耕と園芸』, 2001年1月
- (連載3) 「JFMA 通信(5):「おまけ」の効用」『農耕と園芸』, 2001年2月
- (連載3) 「JFMA 通信(6):お天気マーケティング入門」『農耕と園芸』, 2001年3月
- (連載4) 「当世ブランド物語(11)“ウェザーニューズ”(前編)」『チェーンストア・エイジ』, 2000年4月15日
- (連載4) 「当世ブランド物語(12)“ウェザーニューズ”(後編)」『チェーンストア・エイジ』, 2000年5月15日
- (連載4) 「当世ブランド物語(13)“スヌーピーとその仲間たち”」『チェーンストア・エイジ』, 2000年6月15日
- (連載4) 「当世ブランド物語(14)“TAYA”(前編)」『チェーンストア・エイジ』, 2000年7月15日
- (連載4) 「当世ブランド物語(15)“TAYA”(後編)」『チェーンストア・エイジ』, 2000年8月15日
- (連載4) 「当世ブランド物語(16)“ブックオフコーポレーション”(前編)」『チェーンストア・エイジ』, 2000年9月15日
- (連載4) 「当世ブランド物語(17)“ブックオフコーポレーション”(後編)」『チェーンストア・エイジ』, 2000年10月15日
- (連載4) 「当世ブランド物語(18)“キンコーズ・ジャパン”(前編)」『チェーンストア・エイジ』, 2000年11月15日
- (連載4) 「当世ブランド物語(19)“キンコーズ・ジャパン”(後編)」『チェーンストア・エイジ』, 2000年12月15日
- (連載4) 「当世ブランド物語(20)“ロックフィールド”(前編)」『チェーンストア・エイジ』, 2001年2月15日
- (連載4) 「当世ブランド物語(21)“ロックフィールド”(後編)」『チェーンストア・エイジ』, 2001年3月15日
- (連載5) 「ガーデニング流通その課題と展望:(1) ホームセンターの動き」『グリーン情報』, 2000

年5月

- (連載5) 「ガーデニング流通その課題と展望：(2) 課題と対応策：商品配達と人材」『グリーン情報』, 2000年6月
- (連載5) 「ガーデニング流通その課題と展望：(3) 課題と対応策：店頭マーチャンダイジングと情報化」『グリーン情報』, 2000年7月
- (連載5) 「ガーデニング流通その課題と展望：海外の新しい動き (1) 「欧州のフローラル産業：生まれ始めた革新の土壌」『グリーン情報』, 2000年8月
- (連載5) 「ガーデニング流通その課題と展望：海外の新しい動き (2) 「オランダの植木産業：(1) その歴史と概観」『グリーン情報』, 2000年9月
- (連載5) 「ガーデニング流通その課題と展望：海外の新しい動き (3) 「オランダの植木産業：(2) ロスバーゲン & フルーテンドルスト社」『グリーン情報』, 2000年10月
- (連載5) 「ガーデニング流通その課題と展望：海外の新しい動き (4) 「オランダの植木産業：(3) トゥエンティス・プランツ」『グリーン情報』, 2000年11月
- (論文) 「目に見えない「のれん代」が重要になってきた：日本流「企業ブランド」と欧米流「個別ブランド」『FUJITSU 飛翔』, 2000年5月
- (論文) 「懸賞の現在：景品付セールスプロモーションの有効性」『販売時報』, 2000年6月
- (論文) 「社会の劇場化と商品ブランド」『現代のエスプリ』400号, 2000年11月
- (論文) 「ITとマーケティングの最新動向：ワン・トゥ・ワンから感動の体験へ」『電子政府とセキュリティ』, WINTER, 2000-2001, 2000年11月
- (コラム) 「消費・私の見方：ハイテクをしのぐローテクの実力」『日経消費経済フォーラム』, 2000年10月
- (コラム) 「新産業創生 (34)：商品・ブランド」『日本経済新聞』, 2000年11月6日
- (記事) 「英国の切り花市場, スーパー主導で急成長」『日経流通新聞』, 2000年8月29日
- (書評) 「ブックレビュー, 井本省吾著「流通戦国時代の風雲児たち」：流通企業経営者の比較世代論」『日本経済研究センター会報』858号, 2000年12月15日
- (調査レポート) 「JFMA/園芸売場の店頭面接調査」『日本フローラルマーケティング協会』, 2001年3月31日
- (調査資料) “Trends in Gardening, Cut Flowers and Landscaping” 法政大学産業情報センター紀要『ゲノーシス』10号, 2001年3月31日
- (単行本) 『ガーデニング流通』グリーン情報, 2000年9月
- (インタビュー) 「法政大学社会人大学院の事例——社会人大学院での教育とFD」シリーズ：大学の教育・授業を考える『3 大学の教育・授業の未来像——多様化するFD』, 2001年3月

永野 則雄 教授

(著書) 『ケースブック会計学入門』新世社, 2000年12月

川喜多 喬 教授

- (その他) 「流動化阻止に努める米国企業」日本経営者団体連盟『経営者』第639号, 2000年4月
- (論文) 「中小・中堅製造業の経営戦略と人的資源 (1)」法政大学経営学会『経営志林』第37巻第3号, 2000年10月
- (論文) 「中小・中堅製造業の経営戦略と人的資源 (2)」法政大学経営学会『経営志林』第37巻第4号, 2001年1月
- (その他) 「ミレニアム英国労働事情見聞記」東京都立労働研究所『研究所報』21号, 2000年3月

(調査報告) (共著) 「不況下の職場を支えるベテランミドル」東京都立労働研究所, 2001年3月

林 直 嗣 教授

(共著) 『実習 Visual Basic』サイエンス社, 2000年4月

(論文) 「単位根検定と構造変化=マクロ経済時系列の検証」法政大学経営学会『経営志林』第37巻第1号, 2000年4月

(論文) 「金融時系列の構造変化と単位根検定」法政大学経営学会『経営志林』第37巻第3号, 2000年10月

(研究ノート) 「IT革命とそれを担う情報技術革新(上)」法政大学経営学会『経営志林』第37巻第4号, 2001年1月

(論説) (講演録) 「IT時代の情報教育とNet2000」法政大学国庫助成推進委員会『会報』第57号, 2001年3月

大 下 勇 二 教授

(論文) 「フランス連結会計基準の国際的調和(4)——税効果会計(1)——」法政大学経営学会『経営志林』第37巻第2号, 2000年7月

(論文) 「フランス連結会計基準の国際的調和(5)——税効果会計(2)——」法政大学経営学会『経営志林』第37巻第3号, 2000年10月

(共著) 『財務諸表論がわかる』(武田隆二監修)中央経済社, 2000年10月

(論文) 「フランス連結会計基準の国際的調和(6)——税効果会計(3)——」法政大学経営学会『経営志林』第37巻第4号, 2001年1月

(その他) 「日本社会関連会計学会第13回全国大会」(学会レポート) 税務経理協会『税経通信』第56巻第3号, 2001年2月

神 谷 健 司 教授

(論文) (分担執筆) 『第2部 6章「持分法」他』中央経済社, 杉山学編『連結会計の基礎知識』, 2000年4月

(論文) (分担執筆) 『第7章「財務報告——企業会計の新時代——』ミネルヴァ書房, 法政大学経営学部・藤村博之・洞口治夫編『現代経営学入門——21世紀の企業経営』, 2001年1月

四 塚 利 樹 教授

(論文) (分担執筆) 『現代経営学入門』第4章(藤村博之・洞口治夫編) ミネルヴァ書房, 2001年1月

(論文) 「相対価値ヘッジファンド」『証券アナリストジャーナル』, 2000年4月

(解説) 「ヘッジファンド」朝日新聞社, アエラムック『金融がわかる』, 2000年10月

(報告) 「アービトラージ戦略のリスク・リターン評価」郵政研究所ファイナンスフォーラム集中研究会(湘南国際村), 2000年10月

(報告) 「アービトラージ型ヘッジファンドのリスク管理」グローバル・ヘッジファンド・コンファレンス(パレスホテル), 2000年11月

(報告) 「ヘッジファンド運用のフロンティア」経済情報研究会コアサイエンス・セミナー, 2000年12月

(報告) 「ヘッジファンドのリスク管理とパフォーマンス評価」MTPフォーラム国際セミナー(湘南国際村 国際会議場), 2000年12月

奥西好夫教授

- (論文) 「「成果主義」賃金導入の条件」白桃書房『組織科学』第34巻第3号, 2001年3月
- (論文) 「中小企業の競争戦略と人的資源管理システム」商工総合研究所, 『商工金融』第51巻第5号, 2001年5月
- (報告書) (石川晃弘, 土屋直樹, 畑井治文の各氏と) 『変革期の人事労務管理と従業員意識』東京都立労働研究所, 2000年6月
- (報告書) (横田絵理, 山口純子の両氏と) 『中堅企業における人事評価と中途採用』東京都立労働研究所, 2001年3月
- (特集記事) 「大予測! 2001年の経済・社会——雇用労働」日経連『経営者』第647号, 2000年12月
- (講演録) 「生涯現役社会実現のために——継続雇用からエイジレスへ」兵庫県雇用開発協会『雇用開発ひょうご』第76号, 2001年1月
- (客員研究員レポート) 「高齢者雇用問題について」とちぎ総合研究機構『TALK』第40巻, 2001年1月

田中洋教授

- (共著) 『現代広告論』, 有斐閣, 2000年4月
- (共編著) 『ブランド構築と広告戦略』, 日経広告研究所, 2000年11月
- (論文) (分担執筆) 『ブランド・エクイティの測定と評価—財務・会計的視点と消費者態度からのアプローチ』, 吉田秀雄記念事業財団助成研究論文集, 2000年4月
- (論文) (単著) 「どのように広告は効いているのか?—広告効果一般化のための予備的考察—」, 日経広告研究所, 『日経広告研究所報』193号, 2000年10・11月
- (論文) (単著) 「広告効果とは何か」, 『TRI-VIEW』, (株) 東急総合研究所, 第14巻6号, 2000年6月10日
- (論文) (分担執筆) 「マーケティングにおけるブランドの意味—なぜブランドが問題なのか—」, ミネルヴァ書房, 『現代経営学入門—21世紀の企業経営』, 2000年12月
- (論文) (共著) 「広告マネジメントとクリエイティブにおけるグローバル・スタンダードを求めて」, 日本広告学会, 『広告科学』第40集, 2000年9月
- (論文) (単著) 「エイズ予防啓発方法に関する考察—研究概要と示唆—」, 法政大学経営学会『経営志林』第37巻第2号, 2000年7月
- (ディスカッションペーパー) “Current status of “Globalization vs. Localization” in the business context.”, Department of Mass Communication, Tamkang University, Taipei, Taiwan, ROC., Proceedings of the 2000 International Communication Conference, November 19, 2000
- (論文) (分担執筆) 「①「ブランド論とインテグレーションモデルの接合の試み—「統合モデル」のもとに戦略的インプリケーション」・②「広告効果の一般化へ向けて」, 電通, 『広告効果論』, 2001年3月5日
- (論文) (単著) 「ブランドの新たな研究課題—ブランドと品質—」, (財) 日本科学技術連盟, 『品質管理』Vol.52, No.2, 2001年2月
- (論説) 「インターネットと新聞広告」, 日本経済新聞社, 『日経広告手帖』, 2000年9月
- (論説) 「インターネット時代に変化迫られる新聞広告」, 社団法人日本新聞協会, 『新聞広告報』第602号, 2000年7月
- (論説) 「マーケティング論におけるブランドへの注目」, 法政大学通信教育部, 『法政通信』, 2000年8月

- (論説) 「新聞広告の役割とは…」, 河北新報社, 『河北新報』2000年10月20日特集号一面, 2000年10月
- (事例研究) 「独自の製品開発でニッチ市場開拓 -小林製薬株式会社」, NTT 東日本 (株), 『NTT 東日本ビジネス』, 2000年4月
- (事例研究) 「画期的な新製品のマーケティング -株式会社ロッテ」, NTT 東日本 (株), 『NTT 東日本ビジネス』, 2000年5月
- (事例研究) 「デマンドチェーンを実現するサービス・マーケティング -フェデラル・エクスプレス (フェデックス)」, NTT 東日本 (株), 『NTT 東日本ビジネス』, 2000年6月
- (事例研究) 「ロングセラー住宅情報誌の秘密 顧客情報編集のマーケティング -株式会社リクルート」, NTT 東日本 (株), 『NTT 東日本ビジネス』, 2000年7月
- (事例研究) 「将来のあり方を先取りする顧客満足のマーケティング -ブリティッシュ・エアウェイズ」, NTT 東日本 (株), 『NTT 東日本ビジネス』, 2000年8月
- (事例研究) 「新たなベネフィットを提供するオンデマンド・マーケティング -キンコーズ・ジャパン株式会社」, NTT 東日本 (株), 『NTT 東日本ビジネス』, 2000年9月
- (事例研究) 「G-Shock シリーズに見るブランド・エボリューション -カシオ計算機株式会社」, NTT 東日本 (株), 『NTT 東日本ビジネス』, 2000年10月
- (事例研究) 「ユニセフ募金の方法に学ぶコミュニケーションパワーの活用 -財団法人日本ユニセフ協会」, NTT 東日本 (株), 『NTT 東日本ビジネス』, 2000年11月
- (事例研究) 「『業界や世間の常識』に挑戦するユニクロのブランド・マーケティング」, NTT 東日本 (株), 『NTT 東日本ビジネス』, 2000年12月
- (事例研究) 「常にお客さまの心を先読みしたサービスで確立したラグジュアリーホテルブランド -ザ・リッツ・カールトン大阪」, NTT 東日本 (株), 『NTT 東日本ビジネス』, 2001年1月
- (事例研究) 「企業改革で実現した“老舗”ブランドの再構築 -ヒューレット・パカード」, NTT 東日本 (株), 『NTT 東日本ビジネス』, 2001年2月
- (事例研究) 「成熟ブランドをどうやって活性化するか - (株) ミツカングループ本社」, NTT 東日本 (株), 『NTT 東日本ビジネス』, 2001年3月
- (談話記録) 「ブランドとは」, 日産自動車 (株), 『Nissan News』, 第550号, 2000年9月
- (ビデオ監修) 『会社を強くするブランド戦略入門』(上・下巻), 日本経済新聞社, 2000年6月
- (書評) 「経験経済 エクスパリエンス・エコノミー」(B.J. パイン・J.H. ギルモア著, 電通「経験経済」研究会訳, 流通科学大学出版), 社団法人 日本マーケティング協会, 『マーケティング・ホライズン』, 2000年6月
- (談話記録) 「グローバルブランドのマーケティング・セオリーに合致した, スーパードライのブランド広告と品質広告」, 日本経済新聞社, 『日本経済新聞』2000年12月31日朝刊
- (講演記録) 「売れつづける仕組み作りとしてのブランド戦略」, 販売実務協会, 『マーケティング戦略』No.661, 2000年5月
- (共訳) 『グローサリー・レボリューション』, 同文館出版, 2000年4月

洞 口 治 夫 教授

- (論文) 「多国籍企業の国際分業体制と AFTA -日系電子・電機産業の動向を中心に-」丸屋豊二郎編『アジア国際分業再編と外国直接投資の役割』第5章, アジア経済研究所, 2000年3月
- (研究ノート) 「経済的地域主義の諸原理 -政策反応関数, 享乐的国際化の仮設とカナダ症候群-」『東南アジア諸国の政治経済システムの変化と日本を含む地域協力の可能性』研究委員会報告書, 財団法人・地球産業文化研究所, 2000年6月
- (報告) 「アジア工業化の特質と課題 -マレーシアの家電メーカーにみる経営管理水準-」法政大学経

経済学部創設80周年記念シンポジウム、『グローバリズムのゆくえ』第1セッション、アジア経済の21世紀、2000年7月8日、法政大学市ヶ谷キャンパス、ボワソナードタワー26階・スカイホール

(学会報告) 「加工組立型産業における金型交換時間の観察－国際ビジネス研究における新たな事例分析方法の探求－」国際ビジネス研究学会、第7回全国大会、2000年10月22日、東京大学経済学部

(報告) “Japanese Multinational Enterprises and AFTA: Restructuring and Market Segmentation,” The 19th Annual Hosei University International Conference, Japanese Foreign Direct Investment and Structural Change in the East Asian Industrial System: Global Restructuring for the 21st Century, October 30-November 1, 2000, Boissonade Tower, Hosei University. 第19回法政大学国際シンポジウム『東アジアにおける日本企業の海外直接投資と日本の産業システムの構造的変化－21世紀へのグローバル・リストラクチャリング－』於・法政大学市ヶ谷キャンパス、ボワソナード・タワー26階スカイホール、2000年10月30日～11月1日

(報告) “Japanese Multinational Enterprises and AFTA: Restructuring and Market Segmentation,” in proceedings of the 19th Annual Hosei University International Conference, Japanese Foreign Direct Investment and Structural Change in the East Asian Industrial System: Global Restructuring for the 21st Century, October 30-November 1, 2000, Boissonade Tower, Hosei University.

(編著) 『現代経営学入門－21世紀の企業経営－』経営大学経営学部・藤村博之・洞口治夫編著、ミネルヴァ書房、2001年1月

(論文) 「経営学とは何か」法政大学経営学部・藤村博之・洞口治夫編著『現代経営学入門－21世紀の企業経営－』序章、ミネルヴァ書房、2001年1月

(論文) 「国際経営－産業集積－」法政大学経営学部・藤村博之・洞口治夫編著『現代経営学入門－21世紀の企業経営－』第8章、ミネルヴァ書房、2001年1月

(論文) 「地域連携の政治経済学－享楽的国際化の仮説、政策反応関数とカナダ症候群－」山影進・末廣昭編著『アジア政治経済論－アジアの中の日本をめざして』第2部第7章、NTT出版、2001年2月

(書評) 「馬越恵美子著『異文化経営論の展開』学文社、2000年」比較経営学会『比較経営学会誌』第25号、2001年2月、60～61ページ

橋本 寿朗 教授

(著書) 『現代日本経済史』岩波書店、2000年10月「はしがき」11頁、本文241頁、参考文献、索引、「あとがき」33頁

(論文) 「現代日本企業の最高管理層」(中国語) 陳建安編『日本の経済発展与労働問題』上海财经大学出版会、2000年4月、179-215頁

(論文) “This Way, Entrepreneurs” Look Japan (Look Japan Co.), No.530, May 2000, pp. 17-19

(論文) 「重化学工業と独占」武田晴人・中林真幸編『展望日本歴史18 近代の経済構造』東京堂出版、2000年5月、124-130頁(補注を付して再録)

(論文) 「独占と独占組織」武田晴人・中村真幸編『展望日本歴史18 近代の経済構造』東京堂出版、2000年5月、131-138頁(補注を付して再録)

(論文) 「主力銀行体系与90年代の金融危機」(中国語)(戴曉美と共著) 楊棟梁主編『国際貨幣金融体

- 系与東亜』天津人民出版社，2000年6月，398-414頁
- (論文) 「1955年」(中国語) 安場安吉・猪木武徳編『高速増長 日本経済史8』生活・読書・報知三連書店，2000年6月，57-99頁
- (論文) 「日本のメインバンク・システムと1990年代のアジア金融危機」(戴曉芙と共著)『経営志林』第37巻第2号，2000年7月
- (論文) 「公平か効率か：所得再配分政策としての運輸産業規制政策とその再編」『経営志林』第37巻第3号，2000年10月，67-77頁
- (論文) 「伝統的な産業集積にダイナミックな変化も」『商工ジャーナル』(日本商工経済研究所) 26巻12号，2000年12月，32-35頁
- (論文) 「経済発展のための政府の役割：利害調整政策からの転換を」『エコノミスト』78巻52号，2000年12月，110-114頁
- (論文) 「変わりゆく環境に適応した創造的な経済活動が日本を救う：怒りほとばしる森嶋・小宮〈論争〉に学んで」『エコノミスト』79巻1号，2001年1月，48-51頁
- (論文) 「東アジアの国際協調を促す力は何か」『経営志林』第37巻第4号，2001年1月，101-109頁
- (論文) 「19世紀末英国のデフレに似た日本の現状：3つの歴史的な物価変動を比較する」『エコノミスト』79巻13号，2001年3月，102-106頁
- (書評) “Toshiaki Tachibanaki (ed). Who Runs Japanese Business?” “Business History” Vol. 42 No. 2, April 2000, Frank Cass, pp.204-205
- (書評) 「安岡重明著『財閥経営の歴史的研究—所有と経営の歴史的研究』」『経済史研究』(大阪経済大学日本経済史研究所) 4号，2000年6月，176-194頁
- (書評) 「住友銀行史編纂委員会編『住友銀行百年史』」『第12回「優秀会社史賞」選考報告書』(「優秀会社史賞」選考委員会) 2000年10月，26-27頁
- (書評) “Japan: the system that soured: the Rise and Fall of the Japanese Economic Miracle by Richard Katz” “Social Science Japan Journal” (Oxford University Press) Vol. 3 No. 2, October 2000, pp.304-307
- (書評) 「技術革新のシステムを根底から追求する：沼上幹『液晶ディスプレイの技術革新史—行為連鎖システムとしての技術』」『月刊デジタル百科』(日立デジタル平凡社)，2001年1・2月合併号
- (書評) 「P. シェアード著『企業メガ再編—：新・日本型資本主義の幕開け』」『エコノミスト』(毎日新聞社)，79巻7号，2000年2月，96-97頁
- (対談と座談) 「日本における〈適応と創造の仕組み〉が1つの時代を終えた」(インタビュー)『今こそ，経済学』(『エコノミスト 臨時増刊』) 3444号，2000年4月10日，26-27頁
- (対談と座談) 「合評会記録：東京大学社会科学研究所編『20世紀システム5 国家の多様性と市場』」『社会科学研究』51巻5・6合併号，2000年5月，261-266頁
- (対談と座談) 「物流再構築の進展と国際海運サービス：調査委員会討論」『海事産業研究所報』407号，2000年5月，20-29頁
- (対談と座談) 「21世紀に向けた我が国造船業の課題と取り組み：調査委員会討論」『海事産業研究所報』410号，2000年8月，16-21頁
- (対談と座談) 「今後の外航海運行政について：調査委員会討論」『海事産業研究所報』411号，2000年9月，12-25頁
- (対談と座談) 「キャノンの物流：調査委員会討論」『海事産業研究所報』413号，2000年11月，12-21頁
- (対談と座談) 「マリンフォーラム2000：21世紀の海事産業の進路を探る」『日本海時新聞』2000年12月22日，4-5面

- (対談と座談) 「船舶管理の現場から：調査委員会討論」『海事産業研究所報』415号, 2001年1月, 9-18頁
- (対談と座談) 「これからの海事関連領域の要員確保について」『海事産業研究所報』417号, 2001年3月, 15-23頁
- (調査) 「全国中小企業団体中央会『中央会21世紀ビジョン』」, 2000年4月, (委員として作成に参加)
- (調査) 「海事産業研究所『欧州海事クラスター調査報告書』」, 2001年3月, (調査団団長として作成, 取りまとめに参加)
- (調査) 「日本造船研究会『海洋汚染防止に関する検討：油タンカーのダブルハル化に関する調査研究』(第76基準研究部会)」, 2001年3月, (ワーキンググループ主査として報告をとりまとめる)
- (その他) 「日本 経済 黄金の1980年代とく失われた10年」の90年代」『世界大百科事典アルマナック』平凡社, 2000年4月, 517-520頁
- (その他) 「上海, 復旦大学, 日本櫻花以及日本研究」復旦大学日本研究中心『復旦大学日本研究中心成立十周年記念』2000年4月, 10頁
- (その他) 「大きいことは良いことかー経済地球儀観測④」『書齋の窓』494号, 2000年4月, 22-25頁
- (その他) 「海に馴染み, 海を御する」『海事産業研究所報』(海事産業研究所)407号, 2000年5月, 2-3頁
- (その他) 「遅咲きのスモール・イズ・ビューティフルー経済地球儀観測⑤」『書齋の窓』495号, 2000年6月, 36-39頁
- (その他) 「デジタル革命とインターネットー経済地球儀観測⑥」『書齋の窓』496号, 2000年7月, 40-43頁
- (その他) 「金融メガ統合の行方：財閥溶解論の時代錯誤」『Encarta Year Book』, 2000年7月
- (その他) 「日本経済発展の象徴であった総合商社の凋落ー経済地球儀観測⑦」『書齋の窓』497号, 2000年9月, 36-39頁
- (その他) 「インフレの収束と企業経営ー経済地球儀観測⑧」『書齋の窓』498号, 2000年10月, 48-51頁
- (その他) 「収支相償：政策金融と自己規律」『日経研月報』(日本経済研究所)268号, 2000年10月, 1頁
- (その他) 「江は流れたー産業革命と日本」『WEDGE』12巻11号, 2000年11月, 44-45頁
- (その他) 「国債累積で国の破産が起こる?!ー経済地球儀観測⑨」『書齋の窓』499号, 2000年11月, 42-45頁
- (その他) 「再び創造的適応を：生産システムが崩れそうな時に」『日本経済研究センター会報』(日本経済研究センター)855号, 2000年11月1日号, 1頁
- (その他) 「不老不死を求める消費者行動と消費の正義ー経済地球儀観測⑩完」『書齋の窓』500号, 2000年12月, 70-73頁
- (その他) 「創造性の発揮は知恵の組合せ」中小企業庁編『中小企業 飛躍の条件』同友館, 2000年12月, 15-16頁
- (その他) 「鶴のように瘦身の伝道師」『さんりん』(三輪学苑)20号, 2000年12月, 10頁
- (その他) 「欧州で見た海事クラスターアプローチの状況」『日本海事新聞』2000年12月22日, 4面
- (その他) 「マリンフォーラム：マリタイムジャパンへの路」『海上の友』(日本海事広報協会)1615号, 2001年1月1日, 12面
- (その他) 「1,000ドル経済の苦悶：第一次産業国化現象と中央アジアのバザールの熱気」『書齋の窓』502号, 2001年3月, 27-31頁
- (その他) 「欧州で見た海事クラスター・アプローチ」『海洋展望』(海洋会)17号, 2001年3月, 2-

9 頁

(その他) 「21世紀初頭を生き抜くエクセレントカンパニー」『エコノミスト』79巻12号, 2000年3月, 98-99頁

(学会報告) 「公平か効率か」(招待報告) 復旦大学日本研究中心主催第10回中日学術シンポジウム, 2000年4-5月

(学会報告) 「東アジアの相互依存を推進する力は何か」(招待報告) 南開大学日本研究中心主催第2回国際シンポジウム, 2000年9月

藤澤 利治 教授

(論文) 「ドイツ銀行業における最近の集中傾向」財団法人日本証券経済研究所『証券経済研究』第28号, 2000年11月

松島 茂 教授

(論文) 「戦後日本における中小企業政策の生成と展開」復旦大学, 復旦大学日本研究センター第10回国際シンポジウム, 2000年5月

(論文) 「陶磁器産業と産業技術政策」化学史学会『化学史研究』第28巻第1号, 2001年3月

室井 勝子 助教授

(共著) 『実習 Visual Basic』サイエンス社, 2000年4月

福田 淳児 助教授

(論文) (共同論文) 「業績指標としてのブランド価値測定」日経広告研究所『ブランド構築と広告戦略』, 2000年9月

(論文) (単著) 「ブランド価値の測定についての一考察」法政大学経営学会『経営志林』第37巻第3号, 2000年10月

(論文) (単著) 「ブランド/プロダクト・マネジメントに関する実態調査」法政大学経営学会『経営志林』第37巻第4号, 2001年1月

(翻訳) 「「企業連携のコスト戦略」(Supply Chain Development for the Lean Enterprise (R. Cooper and R.Slagmulder) の翻訳) 第8章担当」ダイヤモンド社, 2000年9月

(論文) (単著) 「組織内での知識の移転とアカウントビリティの形態」日本原価計算研究学会『原価計算研究』25-1, 2001年3月